

生産管理やプラント制御システムを手がけるユニティクス(福岡県筑紫野市、池田朗社長)は、遠隔監視システムでスマート工場の実現を後押しする。分散制御システム(DCS)の機能をパソコンに搭載した同社のシステムは、インターネット

### ユニティクス

## 低コストで構築できる遠隔監視システム開発

# 化学工場のスマート化支援

での実績を踏まえて、化学工場にも導入を提案していく。

ユニティクスが開発した「ユビキタスマニタリングシステム」は、分散オブジェクトの共有化が技術のコア。故障しない堅牢な入出力装置である

プログラムブルロジックコントローラー(PLC)とパソコンを組み合わせた、NETリモートリンクを使用したプロセス間オブジェクト共有の仕組みをクラウド上の複数拠点で利用する。通信システムを構築しなくても動

トを使ってコントロールセンターの外など場所を選ばないリアルタイム監視を可能とする。見やすい画面でカスタマイズも簡単。DCSを一から構築するのに比べて約50%のコストで提供する。風力発電や太陽光発電など

いるかのように情報を扱う(池田社長)。プログラム上の引数と戻り値の関係を遠隔地にあるパソコン間に利用、引数を受け取る設定値(計測情報番号)に置き換え、計測情報を戻り値として受け取る仕組みで、「ITと計

算」している。化学工場は省力化、スマート化を推進しようとしており、「スマート工場を実現するための統合管理の環境として、遠隔地でのリアルタイム監視のニーズは高まっている」。

PLC計装とAI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)を駆使することで、「DCSを遠隔監視システムを構築するのに比べて大幅に安い」という。これまでに、キリンビールやコカコーラなど飲料水の生産現場で採

「例えば、福岡と東京という遠隔地を含んだネットワークシステムを、1台のコンピュータ上でデータをやり取りして

装的、コントロール技術をミックスした」。

「例えば、福岡と東京という遠隔地を含んだネットワークシステムを、1台のコンピュータ上でデータをやり取りして

用実績がある。重化学産業への展開と同時に、新しい市場の開拓にも力を入れる。第1弾として、まき網漁業船向け船内設備監視システム(スマートシップ)を開発、採用が進んでいる。船内の機器状況をタブレット端末でリアルタイム監視できることから、寄港地が漁船の漁獲情報を正確に把握、入港前の準備などの最適化に寄与する。

ユビキタスマニタリングシステムの構成図

